

目次

■ 2024年までのロシア連邦発展の国家目標と戦略的課題 —プーチンの新5月大統領令—	1
■ 統計速報	14
2018年1～3月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／14	
2018年1～3月の日ロ貿易／15	
2018年1～4月のロシアのブランド別乗用車販売台数／17	
■ エトセラ	18
月例報告会「フィンランド・ロシア経済関係」／18	
■ キーパーソン	18
ロシアでメドヴェージェフ首相が再任／18	
アルメニアで野党指導者が首相に選出／18	
■ トピックス	19
北極圏LNG海上輸送、ロシア籍船の義務化／19	

2024年までのロシアの国家目標と戦略的課題 —プーチンの新5月大統領令—

はじめに

3月18日のロシア大統領選で76.69%を得票し当選を果たしたプーチン大統領は、5月7日に就任式を挙行し、正式に第4期政権をスタートさせた。そして6年前同様、就任式の直後にメドヴェージェフ氏を首相に指名し、8日に連邦議会の下院によってこれが承認された。

また、プーチン大統領は就任した当日の5月7日に早速、大統領令「2024年までのロシア連邦発展の国家目標と戦略的課題」に署名した。同大統領令は、2018～2024年の6年間の国家目標を、①人口増加、②平均寿命の伸長、③国民の実質所得の増加・年金保障額の引き上げ、④貧困層の半減、⑤住環境の改善、⑥技術革新の加速、⑦経済・社会部門へのデジタル技術導入、⑧マクロ経済の安定と世界平均を上回る経済成長、⑨製造業および農業・食品産業など基幹部門での輸出志向セクターの創出、の9分野で掲げている。第4期プーチン政権の政策の方向性を示すものとして重要性が高く、読者の関心も小さくないと思われるので、本号ではその全文を邦訳してご紹介することにした。